

ますます  
すすんでいます

伊賀流  
お薬手帳  
活用術

# 「お薬手帳」を活用した 支援が必要な在宅患者への サポート事業

～住み慣れた我が家で安心して暮らし続けるために～

## 取り組みの概要

皆さんが住み慣れた我が家で安心して暮らし続けるための取り組みの一つとして、医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、ケアマネジャー、訪問リハビリ、社会福祉法人などの専門職と市が連携し、患者さんやその家族もネットワークの一員となった、「お薬手帳を活用した在宅患者の薬の管理のしくみづくり」をすすめています。

現在、在宅で医療を受ける皆さんをサポートするため、介護保険や障がい福祉サービスの利用者をはじめ、サポートが必要な人などへの「伊賀市オリジナルお薬手帳カバー」の配布や、必要に応じて、専門職がお薬手帳にアドバイスなどを記入する取り組みを行っています。

## お薬手帳はいつも持参！

お薬手帳は、患者さんをサポートするための大切な情報となります。

この取り組みをより良いものにするためにも、お薬手帳は1冊にまとめ、アレルギーや薬による副作用などがあれば記入し、病院や診療所を受診する時はこちらも、外出する時も持参してください。

## お薬手帳を提示しましょう！

市民の皆さんをはじめ、医療や福祉・介護に携わる専門職の皆さんなどオール伊賀市での取り組みにより、お薬手帳の1冊化がすすんできました。お薬手帳は、処方された薬の名前や服用方法、

専門職の皆さんからのアドバイスなどを医療や福祉、介護の関係者で確認し合うことで、さらなる支援につなげることが出来ます。  
お薬手帳は1冊にまとめ、いつも持参し、病院や診療所、薬局へ行った際に提示しましょう。



## お薬手帳があなたを守ってくれます

今後、過疎と高齢化は進み、自身の健康を自身で守る事がより必要とされます。病気や怪我はいつ襲ってくるか分かりません。お薬手帳の1冊化と情報カード（気づきのメモ）への記入は、医療機関を受診する時の大切なアイテムとなります。



伊賀医師会  
猪木 達会長

日頃から整理し、保険証など受診に必要な物をお薬手帳にまとめ、受診しない時も携帯する事をお勧めします。

# お薬手帳カバーを活用した新たな取り組み

## お薬手帳カバーに入れる “情報カード”



患者さんの緊急連絡先や医療・介護の支援事業所情報、患者さんやご家族から医療介護関係者に伝えたい情報などをまとめた“情報カード”をお薬手帳カバーに入れ、関わりのある専門職種で患者さんの情報を共有し、よりよい支援につなげるための取り組みをはじめます。

このカードはケアマネジャーや指定特定相談支援事業所職員の訪問時や、受診時にサポートが必要な人などにご案内します。

表

関係者および支援事業所連絡先			
		記入日	年 月 日
緊急連絡先	氏 名	電話番号(携帯番号)	本人との関係 【キーパーソン】
職 種	担当者	事業所名	電話番号(FAX番号)

お薬手帳カバーの中に入ります。



裏

患者さんご家族記入欄	アレルギ-	あり・なし	
	今までにかかった病 気・けが		
	関係者に伝えたいこと		
専門職記入欄	予 防 注 射	肺炎球菌ワクチン接種 ( 年 月 )	
	接 種 状 況	インフルエンザ接種 ( 年 月・ 年 月・ 年 月 )	
	定期での注射・点滴		
	情報共有事項など		

情報カードはあなたの味方

お薬手帳や情報カードを有効活用することで、保健・医療・福祉分野の関係者の連携を強め、皆さんにより質の高い支援ができるようになることを考えています。

例えば、ある一人暮らしの高齢者が外出先で救急搬送されたとき、お薬手帳カバーにケアマネジャーの名刺が入っていたおかげで、ご家族と連絡がとれたというケースもありました。



三重県介護支援専門員協会 伊賀支部 峠 友昭さん

このケースのように、もしものときにお薬手帳から緊急連絡先や担当ケアマネジャーなどの連絡先が分かれば、関係者との連携がスムーズになり、より良い支援につながります。

情報カード（気づきのメモ）は緊急時の対応はもちろん、日頃からの支援も強化していくことができますので、ぜひ活用をお願いします。

### 【問い合わせ先】

医療福祉政策課

☎ 22・9705 FAX 22・9673

✉ iryoutukushi@city.iga.lg.jp